

Indolent ATL の予後予測因子に関する JSPFAD レジストリデータを用いた後方視的研究

1. 研究の対象

2002 年 8 月～2021 年 12 月に JSPFAD にデータが登録されている成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL) でくすぶり型もしくは慢性型の方

2. 研究目的・方法

ATL は希少な疾患で、急性型・リンパ腫型に進行すると極めて予後不良です。くすぶり型・慢性型に関しては急性型・リンパ腫型に比して予後は良いとされていますが、長期的な成績はやはり不良ではあると考えられますが、そのまとまった報告は限られております。その為、くすぶり型・慢性型（一般的に indolent ATL と呼ばれる）の中でどういった方が特に急性型などに進行しやすいかは不明です。このような解析には、大多数例のデータを用いての解析が必要であり、世界的に解析可能なデータベースは限られており、今回本邦の JSPFAD のデータを用います。この結果は indolent ATL に貢献するものと期待されます。

本研究では、JSPFAD のレジストリデータを用いて後方視的に統計学的解析を行います。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

JSPFAD データベースに登録されている情報を用います。

4. 外部への試料・情報の提供

JSPFAD のデータベースにおいて既に匿名化された情報を当院および東京大学に提供いただき、統計学的解析を行います。その他の施設に提供されることはありません。

5. 研究組織

大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫

東京大学大学院新領域創成科学研究科 中島 誠、山岸 誠、内丸 薫

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問合せください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

研究代表者(研究責任者)

大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫

〒541-8567 大阪府大阪府中央区大手前 3 丁目 1-69

TEL:06-6945-1181(代表) PHS 6476

-----以上